

富山県次世代クラスター形成研究会

「第3回 薬都モノづくり研究会」 開催ご案内

(製薬現場でのモノづくり)

－薬学と工学の融合－

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたび、財団法人富山県新世紀産業機構及び関係者各位のご尽力により、「薬都モノづくり研究会」を平成22年1月22日(金)に開催する運びとなりました。

つきましては、ご多忙中とは存じ上げますが、本研究会にご臨席賜りますよう、お願い申し上げます。

なお、お手数ながら、当日の出欠について、1月20日(水)までにメールまたはFAXにてご回答いただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

記

1. 日時 1月22日(金) 14:00～17:00
2. 場所 (財)富山県新世紀産業機構 技術交流ビル2F 大研修室
(富山市高田529)
3. 基調講演 14:05～15:15
神戸学院大学薬学部 学部長 福森義信教授
「薬品メーカーとの産学連携の推進 シーズ側への提言」
(休憩)5分間
4. シーズ側の研究発表または話題提供：発表20分+質疑応答5分
富山大学物質生命システム工学科 黒岡准教授 15:20～15:45
「プラントオペレーションにおける管理・監視技術」
富山高等専門学校専攻科 間中助教 15:45～16:10
「濃度が明確に見える・判定できる、現場志向型目視モニタリング技術」
富山県立大学機械システム工学科 中川准教授 16:10～16:35
「流れの可視化と計測技術：粒子画像流速計とトモグラフィ」
5. メーカー側の製品または技術紹介：発表20分+質疑応答5分
横河電機株式会社 16:35～17:00
「PATソリューションアプローチ」

以上

連絡先 富山県立大学地域連携センター
産学官連携コーディネーター 福井敏
fukui@pu-toyama.ac.jp
TEL 0766-56-0604
FAX 0766-56-0391

氏名 : _____

企業・団体名 : _____

参加 ・ 不参加

富山県次世代クラスター形成研究会「薬都モノづくり研究会」設立趣旨

「薬都モノづくり研究会」 （製薬現場でのモノづくり）

－薬学と工学の融合－

目的

富山県内医薬品メーカーの生産額が近年急激に増加した理由は、主に、薬事法改正による開発メーカーからの受託生産量の増加、及び国の普及促進策による後発医薬品(ジェネリック)の生産量増加による。受託品及び後発品の生産量を将来に亘って順調に伸ばすためには、現場での物づくりに注視した生産技術の向上によって、収率向上、品質安定・向上、製造コストダウンを図り、他社との差別化と競争力をつける必要がある。今後、海外からの大手後発医薬品メーカーの日本進出や、中国からの低廉品の輸入などが予想される環境下では、その技術開発の一層のスピードアップが必要である。

そこで、県内の受託・後発医薬品製造現場および医薬品製造業を支える製剤機械・包装機械・容器成型・印刷など周辺産業も含め、生産現場に潜む課題を取り上げ、産学官一体となって生産技術力の向上に取り組み、薬都富山県の基幹産業としての地位向上を企図する。

概要

平成 21 年度中に、(財)富山県新世紀産業機構の助力を得て、年に 3 ないし 4 回研究会を開催する。

各研究会に外部より特別講師を招聘する。

特別講師候補、神戸学院大学薬学部福森教授、アステラス製薬製剤研究所所長、京都大学工学部加納准教授、など。

県内医薬品メーカーの生産・技術開発部門関係者と、富山在県大学・富山県薬事研究所・富山県工業技術センターなどの特にプロセス工学、化学工学、機械工学、材料工学、電子・情報工学の研究者との交流を通じて、モノづくりのテーマを追求し、個別テーマが定まれば平成 22 年度以降国プロジェクトの助成事業に応募する。

以上